



経営発達支援計画事業
消費者需要動向調査
報 告 書



平成 28 年度

多賀城・七ヶ浜商工会

【目 次】

I. 調査概要	2
II. 調査結果報告	
1. 回答者の属性	3
(1) 性別	
(2) 年代別	
(3) 職業別	
2. 消費活動（買い物）の動向	4
(1) 購入品目別購入店舗施設の傾向	
(2) 購入品目別購入頻度の傾向	5
(3) 購入品目別店舗選定の理由	6
3. 1ヶ月に使える消費額	8
4. 地元の商店・商店街について	
(1) 年代別地元の商店・商店街の利用頻度	9
(2) 年代別地元の商店、商店街の課題（複数回答）	9
(3) 地元の商店、商店街に欲しいと思う店（自由回答）	11
5. 外食について	
(1) 年代別外食する機会が多い市・町（複数回答）	14
(2) 年代別外食時の予算（1回お一人様が利用する金額）	14
(3) 年代別外食する機会（回数）	15
(4) 年代別外食で利用される店舗形態	16
6. JR仙石線多賀城駅周辺に今後必要と思われること	17
7. まとめと考察	18
III. 調査票	20

I. 調査概要

1. 調査目的 : 地域内の5つの商店街と連携して、商店街にある商店等を利用する地域消費者に対し、最寄品、買回品等の購入実態、消費動向を調査し、実際の消費者ニーズを探り今後の施策検討及び地域小規模事業者へ提供する基礎資料とすることを目的としている。
2. 調査対象者 : 多賀城市内在住の生活者全般。
特に、性・年代、職業別等の割り付けは行わない有意抽出。
3. 調査数 : 回収目標を240票以上とする。
有効票数 282票
4. 調査方法 : 商工会関係者及び、多賀城市内の消費生活関連事業を営む任意の事業者に委託し生活者へのアンケートを依頼・回収。
訪問留置・郵送調査併用。
5. 調査期間 : 平成28年11月7日(月)～12月5日(月)
6. 調査項目 : ①. 回答者の属性
②. 消費活動(買い物)の動向
③. 地元の商店・商店街について
④. JR仙石線多賀城駅周辺に今後必要と思われること
7. その他 : ①. 集計結果にあたっては、回収数を母数(標本内標本)とし地域全体の代表性を表すものではない。
②. 集計時の構成比は小数点以下2位を四捨五入しているため合計が必ずしも100%にはならない(99.9～100.1)場合があるが、表記は100.0%としている。
③. 報告書作成においては、集計・分析方針を受けて有用と判断されるものを採択し掲載することとする。

Ⅱ. 調査結果報告

1. 回答者の属性

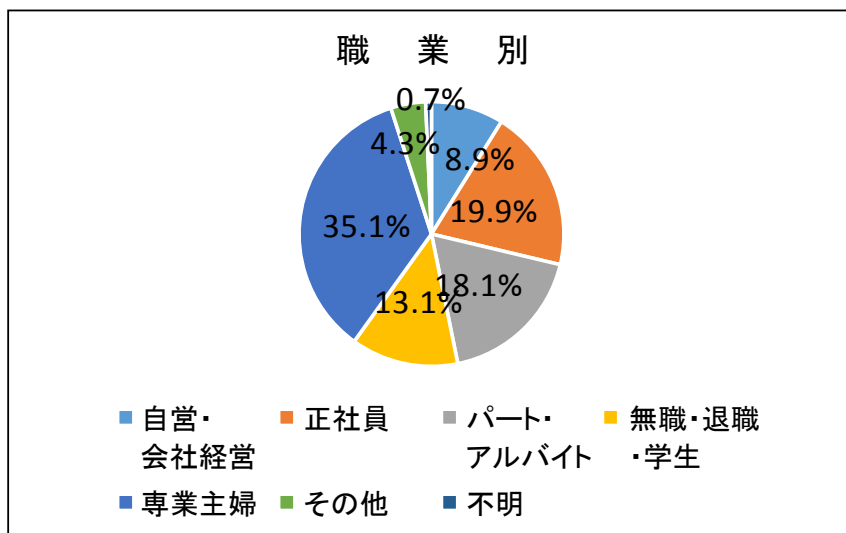
本調査で得られた

(3) 職業別

有職者と無職者で分けると、有職者（自営・会社経営、正社員、パートアルバイト）の合計は46.9%、無職者（無職・退職・学生、専業主婦）の合計は48.2%と、ほぼ同様の割合となった。

【図表 1-3】

合計	自営・会社経営	正社員	パート・アルバイト	無職・退職・学生	専業主婦	その他	不明
282	25	56	51	37	99	12	2
100.0%	8.9%	19.9%	18.1%	13.1%	35.1%	4.3%	0.7%



2. 消費活動（買い物）の動向（複数回答）

(1) 購入品目別購入店舗施設の傾向（図表 2-1）

（選択肢の要約）

- ・大型スーパー・大型店・全国チェーン店＝大型店
- ・コンビニエンスストア＝CVS
- ・地元商店・商店街等＝商店等
- ・仙台等大都市の専門店等＝専門店等
- ・インターネット・通信販売等＝通販等

①. 生鮮食品類

大型店の利用が高く83.8%、他では、商店等の39.3%等。

②. 食料品類（生鮮以外）

大型店の利用が高く80.0%。他では、商店等30.2%、CVS21.1%等。

③. 惣菜・弁当・加工食品類

大型店の利用が高く70.0%。他では、CVS44.9%、商店等24.7%等。

- ④. 日用品類（家庭用消耗品）
大型店の利用が高く 69.8%、他では、ドラッグストアの 45.0%等。
- ⑤. 日用雑貨類（生活用品）
大型店の利用が高く 71.7%、他では、ドラッグストアの 39.9%等。
- ⑥. 日用衣料品類
大型店の利用が高く 75.7%、他では、専門店の 29.3%等。
- ⑦. おしゃれ着・小物・バック類
大型店と専門店の利用が高く拮抗。それぞれ、57.1%、47.1%等。

【図表 2-1】

購入店舗施設等	合計	全大型 チェーン 店・大 型店	コン ビニ エンス ストア	ドラ ッグ ストア	地元 商店 ・商 店街 等	専 門 店 等 大 都 市 の	通 信 販 売 等 ・ ネ ット ・	そ の 他	不 明
購入品目等									
合計	282 100.0%	264 93.6%	148 52.5%	140 49.6%	138 48.9%	134 47.5%	65 23.0%	31 11.0%	7 2.5%
①. 生鮮食品類	272 100.0%	228 83.8%	20 7.4%	4 1.5%	107 39.3%	9 3.3%	6 2.2%	6 2.2%	10 3.7%
②. 食料品類(生鮮以外)	265 100.0%	212 80.0%	56 21.1%	17 6.4%	80 30.2%	9 3.4%	11 4.2%	4 1.5%	17 6.4%
③. 惣菜・弁当・加工食品類	263 100.0%	184 70.0%	118 44.9%	8 3.0%	65 24.7%	7 2.7%	3 1.1%	5 1.9%	19 7.2%
④. 日用品類(家庭用消耗品)	262 100.0%	183 69.8%	15 5.7%	118 45.0%	37 14.1%	6 2.3%	8 3.1%	3 1.1%	20 7.6%
⑤. 日用雑貨類(生活用品)	258 100.0%	185 71.7%	17 6.6%	103 39.9%	32 12.4%	12 4.7%	12 4.7%	5 1.9%	24 9.3%
⑥. 日用衣料品類	259 100.0%	196 75.7%	4 1.5%	8 3.1%	31 12.0%	76 29.3%	43 16.6%	8 3.1%	23 8.9%
⑦. おしゃれ着・小物・バック類	259 100.0%	148 57.1%	0 0.0%	3 1.2%	33 12.7%	122 47.1%	50 19.3%	16 6.2%	23 8.9%

(2) 購入品目別購入頻度の傾向 (図表 2-2)

- ①. 生鮮食品類
週 2 回以上が特に多く 72.0%。他では、週 1 回程度の 22.1%等。
- ②. 食料品類（生鮮以外）
週 2 回以上が多く 62.4%。他では、週 1 回程度の 28.9%等。
- ③. 惣菜・弁当・加工食品類
週 2 回以上が多く 42.7%。他では、週 1 回程度の 32.7%等。

※ 一般的な傾向と比べると、当該地域の食糧品類の購入頻度は高い傾向にあると思われる。

④. 日用品類（家庭用消耗品）

2週間に1回程度が多く30.9%、他では、1ヶ月に2～3回程度の27.1%等。但し、回答が分散しており特に強い傾向はみられない。

⑤. 日用雑貨類（生活用品）

2週間に1回程度が多く29.6%、他では、1ヶ月に2～3回程度の27.6%等。但し、回答が分散しており特に強い傾向はみられない。

⑥. 日用衣料品類

2～3ヶ月に1回程度が多く41.5%、他では1ヶ月に2～3回程度の22.3%等。

⑦. おしゃれ着・小物・バック類

半年に1回程度が多く38.1%、他では、2～3ヶ月に1回程度の25.8%等。

【図表 2-2】

購入店舗施設等 購入品目等	合計	週 2 回 以上	週 1 回 程度	2 週 間 に 1 回 程度	程 度 1 カ 月 に 2 回	程 度 2 カ 月 に 1 回	半 年 に 1 回 程度	そ の 他	不 明
合計	282 100.0%	218 77.3%	184 65.2%	122 43.3%	155 55.0%	167 59.2%	131 46.5%	71 25.2%	7 2.5%
①. 生鮮食品類	271 100.0%	195 72.0%	60 22.1%	3 1.1%	3 1.1%	1 0.4%	1 0.4%	8 3.0%	11 4.1%
②. 食料品類(生鮮以外)	266 100.0%	166 62.4%	77 28.9%	10 3.8%	6 2.3%	1 0.4%	0 0.0%	6 2.3%	16 6.0%
③. 惣菜・弁当・加工食品類	260 100.0%	124 47.7%	85 32.7%	17 6.5%	17 6.5%	5 1.9%	3 1.2%	9 3.5%	22 8.5%
④. 日用品類(家庭用消耗品)	262 100.0%	23 8.8%	53 20.2%	81 30.9%	71 27.1%	24 9.2%	3 1.1%	7 2.7%	20 7.6%
⑤. 日用雑貨類(生活用品)	257 100.0%	17 6.6%	45 17.5%	76 29.6%	71 27.6%	39 15.2%	3 1.2%	6 2.3%	25 9.7%
⑥. 日用衣料品類	260 100.0%	4 1.5%	6 2.3%	12 4.6%	58 22.3%	108 41.5%	52 20.0%	20 7.7%	22 8.5%
⑦. おしゃれ着・小物・バック類	260 100.0%	4 1.5%	2 0.8%	7 2.7%	21 8.1%	67 25.8%	99 38.1%	60 23.1%	22 8.5%

(3) 購入品目別店舗選定の理由

(選択肢の要約)

- ・ 価格が安いから = 低価格力
- ・ 品揃えが豊富で選べるから = 選択力
- ・ 近くて便利だから = 利便性

- ・品質等信用できる店だから =信用力
- ・接客や陳列当、買い物がしやすいから =容易性
- ・駐車場など店舗施設が充実しているから =施設力

①. 生鮮食品類

選択力と利便性が高く拮抗。それぞれ、52.9%、51.5%等。

②. 食料品類（生鮮以外）

選択力と利便性が高く拮抗。それぞれ、57.3%、52.7%等。

③. 惣菜・弁当・加工食品類

利便性が高く 53.7%。他では、選択力 43.1%等。

④. 日用品類（家庭用消耗品）

選択力が高く 45.6%、他では、利便性 39.5%、低価格力 39.2%等。

⑤. 日用雑貨類（生活用品）

選択力が高く 45.6%、他では、低価格力 39.8%、利便性 35.2%等。

⑥. 日用衣料品類

選択力が高く 43.2%、他では、低価格力 29.3%、施設力 27.8%等。

⑦. おしゃれ着・小物・バック類

選択力が高く 40.2%、他では、信用力 34.8%、施設力 24.6%等。

【図表 2-3】

購入店舗施設等	合計	価格が安いから	から品揃えが豊富で選べる	近くて便利だから	から品質等信用できる店だから	が接客や陳列等、買い物がしやすいから	充駐車場など店舗施設が	その他	不明
購入品目等									
合計	282 100.0%	174 61.7%	222 78.7%	222 78.7%	163 57.8%	83 29.4%	134 47.5%	57 20.2%	4 1.4%
①. 生鮮食品類	272 100.0%	112 41.2%	144 52.9%	140 51.5%	87 32.0%	34 12.5%	87 32.0%	6 2.2%	10 3.7%
②. 食料品類(生鮮以外)	262 100.0%	101 38.5%	150 57.3%	138 52.7%	80 30.5%	29 11.1%	73 27.9%	3 1.1%	20 7.6%
③. 惣菜・弁当・加工食品類	255 100.0%	64 25.1%	110 43.1%	137 53.7%	66 25.9%	19 7.5%	53 20.8%	11 4.3%	27 10.6%
④. 日用品類(家庭用消耗品)	263 100.0%	103 39.2%	120 45.6%	104 39.5%	45 17.1%	32 12.2%	77 29.3%	8 3.0%	19 7.2%
⑤. 日用雑貨類(生活用品)	261 100.0%	104 39.8%	119 45.6%	92 35.2%	55 21.1%	36 13.8%	76 29.1%	8 3.1%	21 8.0%
⑥. 日用衣料品類	259 100.0%	76 29.3%	112 43.2%	56 21.6%	67 25.9%	35 13.5%	72 27.8%	20 7.7%	23 8.9%
⑦. おしゃれ着・小物・バック類	256 100.0%	46 18.0%	103 40.2%	21 8.2%	89 34.8%	38 14.8%	63 24.6%	47 18.4%	26 10.2%

3. 1ヶ月に使える消費額

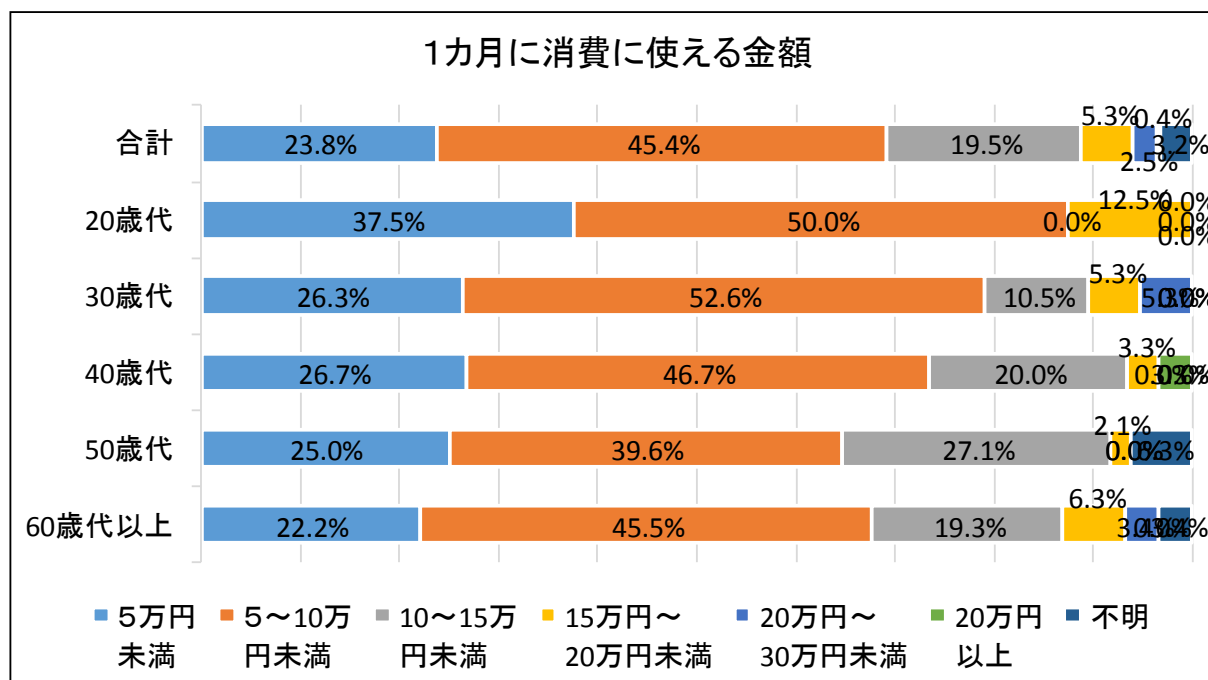
※年代別1ヶ月に使える消費額

1ヶ月に使える消費額は「5～10万円未満」が最多。全体で45.4%。
年代別でも全ての年代で最多となっている。

また、次に多い回答は、50歳代を除き、「5万円未満」となっている。

【図表3】

消費額 年代	合計	5万円 未満	5～10万 円未満	10～15万 円未満	15万円～ 20万円未満	20万円～ 30万円未満	20万円 以上	不明
合計	282 100.0%	67 23.8%	128 45.4%	55 19.5%	15 5.3%	7 2.5%	1 0.4%	9 3.2%
20歳代	8 100.0%	3 37.5%	4 50.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
30歳代	19 100.0%	5 26.3%	10 52.6%	2 10.5%	1 5.3%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%
40歳代	30 100.0%	8 26.7%	14 46.7%	6 20.0%	1 3.3%	0 0.0%	1 3.3%	0 0.0%
50歳代	48 100.0%	12 25.0%	19 39.6%	13 27.1%	1 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 6.3%
60歳代以上	176 100.0%	39 22.2%	80 45.5%	34 19.3%	11 6.3%	6 3.4%	0 0.0%	6 3.4%
不明	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%



4. 地元の商店・商店街について

(1) 年代別地元の商店・商店街の利用頻度

年代別地元の商店・商店街の利用頻度を見ると、全体で「週に1回以上利用している」割合（「週に3回以上」と「週に1～2回程度」の合計）は73.0%となる。

また、年代別では、20歳代～40歳代までは「週に3回以上」の利用者層と、「月に1回程度」の利用者層とに分かれ、50歳代以上になると「週に3回以上」「週に1～2回程度」と利用頻度が高くなる傾向がみられる。

【図表 4-1】

利用頻度 年代	合計	週に3回以上	週に1～2 回程度	月に2～3 回程度	月に1回程 度	それ以下	不明
合計	282 100.0%	103 36.5%	103 36.5%	33 11.7%	40 14.2%	0 0.0%	3 1.1%
20歳代	8 100.0%	3 37.5%	0 0.0%	3 37.5%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
30歳代	19 100.0%	7 36.8%	3 15.8%	3 15.8%	6 31.6%	0 0.0%	0 0.0%
40歳代	30 100.0%	7 23.3%	11 36.7%	4 13.3%	8 26.7%	0 0.0%	0 0.0%
50歳代	48 100.0%	18 37.5%	23 47.9%	1 2.1%	6 12.5%	0 0.0%	0 0.0%
60歳代以上	176 100.0%	68 38.6%	66 37.5%	21 11.9%	18 10.2%	0 0.0%	3 1.7%
不明	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(2) 年代別地元の商店、商店街の課題（複数回答）

地元の商店、商店街の課題として上げられたのは全体で、「品揃えが少ない」58.9%、次いで、「買いたい商品がない」43.6%、「お店が少ない」36.9%、「価格が高い」33.3%、「駐車場がない」26.2%等の順となった。

年代別でもこの傾向は、ほぼ変わらない共通した認識のようである。

（図表 4-2 参照。）

【図表 4-2】

課題 年代	合計	価格が 高い	品揃えが 少ない	買い物の 利便性が 悪い	商品の質 がよくない	活気が 無い	駐車場が ない
合計	282 100.0%	94 33.3%	166 58.9%	42 14.9%	28 9.9%	65 23.0%	74 26.2%
20歳代	8 100.0%	3 37.5%	7 87.5%	1 12.5%	2 25.0%	2 25.0%	2 25.0%
30歳代	19 100.0%	7 36.8%	9 47.4%	6 31.6%	2 10.5%	4 21.1%	4 21.1%
40歳代	30 100.0%	14 46.7%	14 46.7%	6 20.0%	1 3.3%	6 20.0%	11 36.7%
50歳代	48 100.0%	14 29.2%	26 54.2%	7 14.6%	6 12.5%	12 25.0%	10 20.8%
60歳代	176 100.0%	56 31.8%	109 61.9%	21 11.9%	17 9.7%	40 22.7%	46 26.1%
不明	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%

課題 年代	交通の便 が悪い	サービス・ 接客が良 くない	買いたい 商品がな い	商店街の 人たちと交 流がない	生活圏に商 店街は入っ ていない	お店が少 ない	その他
合計	24 8.5%	26 9.2%	123 43.6%	38 13.5%	47 16.7%	104 36.9%	15 5.3%
20歳代	2 25.0%	0 0.0%	4 50.0%	3 37.5%	0 0.0%	4 50.0%	1 12.5%
30歳代	1 5.3%	3 15.8%	5 26.3%	1 5.3%	2 10.5%	6 31.6%	1 5.3%
40歳代	1 3.3%	5 16.7%	17 56.7%	5 16.7%	6 20.0%	7 23.3%	1 3.3%
50歳代	2 4.2%	4 8.3%	18 37.5%	5 10.4%	7 14.6%	18 37.5%	6 12.5%
60歳代	18 10.2%	14 8.0%	78 44.3%	23 13.1%	31 17.6%	68 38.6%	6 3.4%
不明	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%

(3) 地元の商店、商店街に欲しいと思う店（自由回答）

性別	年代別・回答内容
男性	20 歳代・飲食店と併設して外食したついでに立ち寄ることが出来るような商店、商店街
男性	20 歳代・ネットカフェがあれば友達と時間を気にせずパソコンができる。
男性	20 歳代・カイロプラクティックによる施術を行っている店。→整体とは別ものです
男性	20 歳代・人が集まる様スポットを作る。子供向けや老人など車の方むけにとめるスペースがある。
男性	30 歳代・肉魚専門店
男性	30 歳代・イベントスペース
男性	30 歳代・現在は複合している店も多く種類(食糧、衣類、娯楽)など、1回で色々選べる店があれば良い。
男性	50 歳代・肉屋さん 魚屋さん パン屋さん 食事をする所
男性	50 歳代・飲食店
男性	50 歳代・昔ながらの魚屋さんがあれば・夜 8 時くらいまで開いていると助かります。質問9にも書きましたが平日仙台へ通勤しているサラリーマンなので日中地元におりません。必然的に夜遅くまで開いているお店でしか買い物できません(生鮮品は)
男性	60 歳以上・配達してくれるお店
男性	60 歳以上・鮮魚店
男性	60 歳以上・食料品店
男性	60 歳以上・安さ 駐車場
男性	60 歳以上・特色ある品揃え地元産直品の充実。買いやすさなどを考えた商店。
男性	60 歳以上・バイキングスタイルの食堂(例 半田屋) コンビニみたいな店。ただし価格が安い
男性	60 歳以上・駐車場があれば
男性	60 歳以上・日用品、雑貨、衣料品等(生鮮三品を除く)を中心とした店
男性	60 歳以上・居酒屋 安くて気軽に飲める店
男性	60 歳以上・価格が安く品揃えが良い
男性	60 歳以上・専門店

性別	年代別・回答内容
女性	20 歳代・若者のお店
女性	20 歳代・スーパーなどにはない物を置くと活気などが増えると思います。地元の物を売るお店を増やすことが大切だと思います。他にはないような特徴的なことが必要だと思います。行きたくなるような宣伝が必要だと思います。
女性	30 歳代・カフェ(おいしいケーキセットありのおいしいコーヒー紅茶が飲める)
女性	30 歳代・駐車場があり、入りやすい感じの有るお店(お肉屋さん、お魚屋さん、八百屋などの専門店)
女性	30 歳代・価格が安くて品揃えの良い大型スーパー。沢山の店が入っていると便利(一度で済むから)
女性	30 歳代・全国的にここにしかない食べ物があるとか行列ができるお店的な店
女性	40 歳代・仕事帰りでも立ち寄れる時間帯に営業している 商品がきれいな状態で陳列されている価格もお手頃 駐車場がある
女性	40 歳代・専門店が同じ場所に集まっていたら買いに行きたい。
女性	40 歳代・品揃えを多くしてほしいです
女性	40 歳代・気軽に入れて出れる店。小さい店は入りづらい。店内の独特な臭いがだめ
女性	40 歳代・八百屋、魚屋等。下町の商店街で活気のある通りがあったら買物する
女性	40 歳代・安くて新鮮な物があり、明るく入りやすいお店
女性	40 歳代・ディスカウントショップ
女性	40 歳代・駄菓子屋
女性	50 歳代・惣菜などの店
女性	50 歳代・商店街を数カ所の集中し大型店の様に何でも購入できる体制 駐車場の必要性を考慮すべき
女性	50 歳代・魚屋 蕎麦屋
女性	50 歳代・買物が一カ所で済むような店
女性	50 歳代・ロックタウンのような店。一カ所に欲しい物見たいが集中している店。
女性	50 歳代・欲しい物(質の良い)がある店 他の店に無いオリジナルの品物 サービスの良い店
女性	50 歳代・買いまわり品店
女性	50 歳代・明るい、きれい、活気
女性	50 歳代・お総菜屋さん(高品質)価格抑えめ
女性	50 歳代・小さい店でもよく利用する店を思い浮かべてみると 1.親しみがある接客とサービスの良さ(気がきいている) 2.量販店にはないそこでしか買えない個性的な品物がある。イ鮮度管理が行き届いているウ品物に対する愛情とこだわりがある 3.大きくなくても駐車場スペースがある
女性	50 歳代・100 均に野菜を扱っているお店
女性	60 歳以上・家庭金物店

女性	60歳以上・珈琲等の喫茶店
女性	60歳以上・雑貨 衣料品店 生鮮店 フルーツ専門店
女性	60歳以上・パン屋ケーキ屋さん 軽食、喫茶店(ランチができる店が少ないので)
女性	60歳以上・行列が出来るような飲食店。高齢者が気軽に喫茶のみ出来る店。
女性	60歳以上・定義として、つらなっていて並んでいることで、なおかつ地元の活性化を感じて、買い物が出来ることが重要と思う。点在では魅力を感じるのはむずかしい。
女性	60歳以上・気軽に食事(ランチ等)が出来る店 (入りやすさも有)(チェーン店には出来ないような味がある店)
女性	60歳以上・大型スーパー
女性	60歳以上・鮮魚店 八百屋 ゆっくりお茶、コーヒーが飲める店
女性	60歳以上・一カ所で買い物が出来る様になっているところ 品数がおおくある
女性	60歳以上・高齢者がゆっくり買い物できる店があると良いです。
女性	60歳以上・駅前商店があればなあと思います。そしたら電車はもちろんバスでも自転車でも駅まで行けば買物ができます。毎週1回駅前広場で市場を出すとか、フランスのマルシェのようなしゃれたネーミングつけて。子供からお年寄りまで興味ありそうなものを売るとか・・・
女性	60歳以上・家電の修理をする店(専門店)
女性	60歳以上・新鮮な野菜、魚、肉を近くで買うことができる様な店
女性	60歳以上・JA たなばたけや駅の構内に入っている登米の産直店のようなお店。多少形が不揃いでも新鮮な野菜とか手作り品などがあれば利用する。
女性	60歳以上・新鮮で特徴のある生鮮食品の店
女性	60歳以上・駅近に家族で楽しめるような娯楽施設があればいいと思います。
女性	60歳以上・種多様の専門店が出来てもらえると良いと思います
女性	60歳以上・食料品、日用品、雑貨品の小売店が集合しているところが
女性	60歳以上・スーパーができてほしい
女性	60歳以上・そば、うどん屋さん(ラーメン屋さんばかり)
女性	60歳以上・ユニクロ出店してほしい
女性	60歳以上・日用品、衣料品等の買い物が出来る店
女性	60歳以上・おしゃれなお店
女性	60歳以上・大型食堂
女性	60歳以上・食料品店
女性	60歳以上・衣料品店
女性	60歳以上・品揃えを多くて価格が安く見栄えが良い物
女性	60歳以上・安くて対応のいい店がいいです！常連の客には親切だが一見の客には大変感じが悪くてこわくて入店できない！
女性	60歳以上・一カ所で買い物が出来る様に(特に毎日の食事の買物)

5. 外食について

(1) 年代別外食する機会が多い市・町（複数回答）

外食する機会が多い市・町は、全体では地元である多賀城市・七ヶ浜町が最多で66.7%、次いで、仙台市36.2%、塩釜市22.0%となった。

年代別みると、20歳代、30歳代等は仙台市で外食する機会が多くなり、逆に、50歳代以上になると多賀城市・七ヶ浜町、塩釜市などで外食する割合が高くなる傾向がみられる。

【図表 5-1】

外食市・町年代	合計	多賀城市・七ヶ浜	仙台市	塩釜市	利府・松町	その他	不明
合計	282	188	102	62	36	16	16
	100.0%	66.7%	36.2%	22.0%	12.8%	5.7%	5.7%
20歳代	8	5	6	0	0	0	0
	100.0%	62.5%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代	19	12	11	2	3	0	0
	100.0%	63.2%	57.9%	10.5%	15.8%	0.0%	0.0%
40歳代	30	21	18	6	5	0	0
	100.0%	70.0%	60.0%	20.0%	16.7%	0.0%	0.0%
50歳代	48	33	17	5	7	4	2
	100.0%	68.8%	35.4%	10.4%	14.6%	8.3%	4.2%
60歳代以上	176	116	49	49	21	12	14
	100.0%	65.9%	27.8%	27.8%	11.9%	6.8%	8.0%
不明	1	1	1	0	0	0	0
	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(2) 年代別外食時の予算（1回お一人様が利用する金額）（宴会や酒席を除く）

外食時の予算は、「750円～1000円程度」が全体では最多となり39.4%。次いで「1000円～1500円程度」27.0%、「1500円以上」14.2%等となった。

年代別では、40歳代以上になると消費額が高くなる傾向がみられ、「750円～1000円程度」を境に、40歳代では「1000円～1500円程度」が36.7%、50歳代では、「1000円～1500円程度」20.8%、「1500円以上」18.8%、60歳代では、「1000円～1500円程度」27.3%、「1500円以上」13.6%等となった。（図表 5-2 参照。）

【図表 5-2】

消費額 年代	合計	500円程度	500～750 円程度	750～1000 円程度	1000～1500 円程度	1500円以 上	不明
合計	282 100.0%	10 3.5%	27 9.6%	111 39.4%	76 27.0%	40 14.2%	18 6.4%
20歳代	8 100.0%	1 12.5%	2 25.0%	2 25.0%	2 25.0%	1 12.5%	0 0.0%
30歳代	19 100.0%	0 0.0%	5 26.3%	8 42.1%	5 26.3%	1 5.3%	0 0.0%
40歳代	30 100.0%	0 0.0%	2 6.7%	12 40.0%	11 36.7%	5 16.7%	0 0.0%
50歳代	48 100.0%	2 4.2%	3 6.3%	22 45.8%	10 20.8%	9 18.8%	2 4.2%
60歳代以上	176 100.0%	7 4.0%	15 8.5%	66 37.5%	48 27.3%	24 13.6%	16 9.1%
不明	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(3) 年代別外食する機会（回数）

外食する機会（回数）は、全体では「月に2～3回程度」が最も多く38.3%次いで、「月に1回程度」27.0%等となった。

年代別では、30歳代までは外食機会が多いようですが、それ以上になると外食機会は少なくなるようである。

【図表 5-3】

外食機会 年代	合計	週に3回 以上	週に1～ 2回程度	月に2～ 3回程度	月に1回 程度	それ以 外	不明
合計	282 100.0%	10 3.5%	37 13.1%	108 38.3%	76 27.0%	34 12.1%	17 6.0%
20歳代	8 100.0%	0 0.0%	3 37.5%	5 62.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
30歳代	19 100.0%	2 10.5%	5 26.3%	7 36.8%	2 10.5%	3 15.8%	0 0.0%
40歳代	30 100.0%	1 3.3%	7 23.3%	12 40.0%	7 23.3%	2 6.7%	1 3.3%
50歳代	48 100.0%	1 2.1%	3 6.3%	18 37.5%	19 39.6%	5 10.4%	2 4.2%
60歳代以上	176 100.0%	6 3.4%	19 10.8%	65 36.9%	48 27.3%	24 13.6%	14 8.0%
不明	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(4) 年代別外食で利用される店舗形態

外食で利用される店舗形態は、全体では専門の「チェーン店（ラーメン、寿司、焼肉、とんかつ等）」が最多となり 49.3%と半数近くが回答している。

次いで、「単独の店舗（その店1店舗のレストラン、専門店）」27.0%、「ファミリーレストラン（全国大手チェーン店）」12.4%等となった。

年代別でも、概ねこれら3業態のいずれかの利用が多い傾向がみられる。

【図表 5-4】

年代	合計	ファミリーレストラン (全国大手チェーン店等)	ファーストフード店 (ハンバーガー、牛丼等)	専門のチェーン店 (ラーメン、寿司、焼肉、とんかつ等)	単独の店舗 (その店1店舗のレストラン、専門店等)	その他	不明
合計	282 100.0%	35 12.4%	9 3.2%	139 49.3%	76 27.0%	5 1.8%	18 6.4%
20歳代	8 100.0%	2 25.0%	1 12.5%	2 25.0%	3 37.5%	0 0.0%	0 0.0%
30歳代	19 100.0%	6 31.6%	2 10.5%	7 36.8%	4 21.1%	0 0.0%	0 0.0%
40歳代	30 100.0%	9 30.0%	1 3.3%	13 43.3%	7 23.3%	0 0.0%	0 0.0%
50歳代	48 100.0%	2 4.2%	2 4.2%	24 50.0%	16 33.3%	2 4.2%	2 4.2%
60歳代以上	176 100.0%	15 8.5%	3 1.7%	93 52.8%	46 26.1%	3 1.7%	16 9.1%
不明	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

6. JR仙石線多賀城駅周辺に今後必要と思われること

JR仙石線多賀城駅周辺に今後必要と思われることを年代別に見たものが図表4である。全体では、生鮮三品を中心とした小売店の充実と地元産品・お土産を扱う小売店の充実に多く回答が集まった。また、年代別では、回答数が多い中高年層は全体の傾向と同様であるが、20歳代～40歳代は飲食店を求める傾向が高い。

【図表6】

今後の取り組みとして必要なこと 年代	合計	生鮮三品 (肉・魚・野菜)を中心 とした小売店の充実	日用品・雑 貨・衣料品 等(生鮮三 品を除く)を 中心とした 小売店の 充実	飲食店(居 酒屋等酒 類販売店を 含む)の充 実	地元産品 やお土産を 扱う小売店 の充実	レジャー・ イベント等 の開催や そのための 施設・設備 の充実	歴史・文化 をアピール する活動の 充実
合計	282 100.0%	98 34.8%	75 26.6%	74 26.2%	94 33.3%	63 22.3%	31 11.0%
20歳代	8 100.0%	2 25.0%	3 37.5%	5 62.5%	2 25.0%	2 25.0%	1 12.5%
30歳代	19 100.0%	6 31.6%	7 36.8%	9 47.4%	2 10.5%	6 31.6%	0 0.0%
40歳代	30 100.0%	10 33.3%	8 26.7%	16 53.3%	9 30.0%	7 23.3%	1 3.3%
50歳代	48 100.0%	17 35.4%	7 14.6%	13 27.1%	17 35.4%	13 27.1%	5 10.4%
60歳代以上	176 100.0%	63 35.8%	50 28.4%	30 17.0%	64 36.4%	35 19.9%	23 13.1%
不明	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%

今後の取り組みとして必要なこと 年代	医療機関・ 福祉施設・ 保育施設 等の充実	文化セン ター周辺環 境の整備	防犯カメラ の設置等、 安全確保 のための整 備	歩道の整 備等歩行 者が安心して周遊でき るインフラ の整備	企業家育 成、企業誘 致促進の ためのオ フィス施設 の整備	その他	不明
合計	59 20.9%	29 10.3%	58 20.6%	47 16.7%	8 2.8%	12 4.3%	22 7.8%
20歳代	2 25.0%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%
30歳代	6 31.6%	0 0.0%	4 21.1%	3 15.8%	2 10.5%	2 10.5%	0 0.0%
40歳代	7 23.3%	1 3.3%	7 23.3%	5 16.7%	0 0.0%	3 10.0%	0 0.0%
50歳代	12 25.0%	2 4.2%	6 12.5%	7 14.6%	1 2.1%	2 4.2%	7 14.6%
60歳代以上	32 18.2%	26 14.8%	40 22.7%	31 17.6%	4 2.3%	5 2.8%	14 8.0%
不明	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

7. まとめと考察

(1) 消費者の消費状況と商業施設等の利用動向

今回の調査で買い物時に利用する主な小売店舗を品目別で聞いたところ、全ての品目で大型店（スーパー、全国チェーン店等含む）の利用が中心との結果となったが、これは予め想定されていたことでもあり、当然の結果である。

加えて、コンビニエンスストアやドラッグストアの利用状況も然りである。

しかし、地元商店・商店街の利用状況がコンビニエンスストアやドラッグストアに類する利用状況があったことは、近年の地域商業事情からすれば、ある意味予想外のことともいえる。

この背景には、今回の調査対象者が中高年層に多く占められていたことに起因するものと考えられるが、商店・商店街等の利用頻度をみると若中年層の利用も一定の割合で見受けられ、幅広い年代層の利用が認められることから、大型店、チェーン店に類する利用があるものと思われる。

中でも、生鮮三品をはじめとする食料品の消費動向においては、他の調査データとも比較すると購入頻度が多い地域と考えられ、その需要は十分に認められ今後の商店・商店街等の経営活動において一考すべき点とも言える。

また、小売店舗選択の理由については、「近さ」と「品揃えの豊富さ」が「価格の安さ」を抑えて、店舗選択の上位となったことも本調査において重要な要素となる。とりわけ、食料品類はこうした傾向が強く見受けられ、高齢化社会が進展する中、商業活動の更なる向上において着目すべき点と考える。

(2) 消費者需要と商店・商店街が抱える課題

今回の調査結果内における消費者の消費状況と商業施設等の利用動向を鑑みて現在の商店・商店街に対する課題をみると、特に、改善が求められる点として以下の2点が上げられる。

- ①. 小売店舗選択理由について、「品揃えの豊富さ」が最も重視されている要因の1つであるが、現時点での消費者の評価は「品揃えが少ない」「買いたい商品がない」など厳しいものになっていること。
- ②. 1ヶ月の消費金額をみると、全体的には「5～10万円未満」が中心で、一部の高年層が「10～15万円未満」となっている。購入頻度からみて、特に食料品類は、低価格志向は強いものとみられるため、消費者需要に応えるためには、価格設定も重要な要素となること。

(3) JR仙石線多賀城駅周辺に求められるもの

JR仙石線多賀城駅は一日約6,400人が利用し、多賀城市及び七ヶ浜町の玄関口とされている。しかし、2002年に多賀城駅南側にあった長崎屋宮城多賀城店が撤退後、長年の間求心力に欠ける「へそのないまち」として、多賀城商圏の吸引人口は大きく減少した。震災以後、多賀城市は多賀城駅北側に市立図書館と書店、介護施設などを整備し、さらに「仙台うみの杜水族館」と多賀城駅との間の路線バス新設により、多賀城駅前の交流人口が大幅に増えることが見込まれている。そうした中、駅前周辺の流通事情は未だ解消されておらず、小売商業の充実を望む声は今回の調査結果にも如実に表れており、とりわけ、中高年層からは生鮮三品の店舗施設、若中年層からは飲食店（酒類の販売を含む）の需要が高まっている。

また、生鮮三品等の食料品は、「近さ」と「選べる」ことが重要で、現在の住宅事情や今後の乗降客数の増加を考慮すると「近さ」はクリアできており、残るは「選べる」店づくりができる商業者が待望されるところである。

以上

Ⅲ. 調 査 票

『街と暮らしについてのお伺い』

《ごあいさつ》

今般、多賀城七ヶ浜商工会では、当該地域及び商工業の活性化を図るべく、様々な対策を検討させて頂いているところです。

この度は、地元住民の皆様のご暮らしについて現状やお考えをお伺いし、今後の施策に反映させ地域の発展に努めるため、アンケートを実施させて頂くこととなりました。

お忙しい中、誠に恐れ入りますが何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

【調査主体及びお問い合わせ】

多賀城・七ヶ浜商工会 担当 八巻

〒985-0872 宮城県多賀城市伝上山 3-1-12

電話 022-365-7830 FAX 022-365-7880

《アンケート実施上の留意点》

- ・このアンケートは、完全無記名方式で行います。
- ・ご回答頂きました内容は統計処理されます。個人情報等が外部に表示されることはありません。
- ・回答は、世帯の中で20歳以上の主に消費に関する意思決定者をお願いします。
- ・1世帯につき1票のご回答をお願いします。
- ・ご記入後は、同封の返信用封筒にてご返送ください。

アンケートのご返送期限 平成28年12月5日（月）

質問1. 性別をお知らせください。(1つに○)

1. 男性 2. 女性

質問2. 年代をお知らせください。(1つに○)

1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代
4. 50歳代 5. 60歳代以上

質問3. 現在、お仕事（収入がある）はされていますか？

1. 自営・会社経営 2. 正社員 3. パート・アルバイト
4. 無職・退職・学生 5. 専業主婦 6. その他（ ）

<買い物についてお伺いします。>

質問4. 以下の①～⑦の品目について、普段どのようなお店で購入されますか？

①～⑦の品目ごと、回答欄の番号にそれぞれいくつでも○をつけてください。

購入店舗施設等 購入品目等	全国チェーン店等	大型スーパー・大型店	コンビニエンスストア	ドラッグストア	地元商店・商店街等	専門店等	仙台市等大都市の	通信販売等	インターネット・	その他
	回 答 欄									
①. 生鮮食品類	1	2	3	4	5	6	7			
②. 食料品類（生鮮以外）	1	2	3	4	5	6	7			
③. 惣菜・弁当・加工食品類	1	2	3	4	5	6	7			
④. 日用品類（家庭用消耗品）	1	2	3	4	5	6	7			
⑤. 日用雑貨類（生活用品）	1	2	3	4	5	6	7			
⑥. 日用衣料品類	1	2	3	4	5	6	7			
⑦. おしゃれ着・小物・バック類	1	2	3	4	5	6	7			

質問5. 以下の①～⑦の品目について、購入頻度はおおよそどのくらいですか？

①～⑦の品目ごと、回答欄の番号にそれぞれ1つつ○をつけてください。

購入店舗施設等 購入品目等	週2回以上	週1回程度	2週間に1回程度	程度 1カ月に2～3回	程度 2～3ヶ月に1回	半年に1回程度	その他
	回 答 欄						
①. 生鮮食品類	1	2	3	4	5	6	7
②. 食料品類（生鮮以外）	1	2	3	4	5	6	7
③. 惣菜・弁当・加工食品類	1	2	3	4	5	6	7
④. 日用品類（家庭用消耗品）	1	2	3	4	5	6	7
⑤. 日用雑貨類（生活用品）	1	2	3	4	5	6	7
⑥. 日用衣料品類	1	2	3	4	5	6	7
⑦. おしゃれ着・小物・バック類	1	2	3	4	5	6	7

質問6. 以下の①～⑦の品目を購入するお店を選ぶ理由はどのようなものですか？

①～⑦の品目ごと、回答欄の番号にそれぞれいくつでも○をつけてください。

購入店舗施設等 購入品目等	価格が安いから	品揃えが豊富で選べるから	近くて便利だから	品質等信用できる店だから	接客や陳列等、買い物がしやすいから	駐車場など店舗施設が充実しているから	その他
	回 答 欄						
①. 生鮮食品類	1	2	3	4	5	6	7
②. 食料品類（生鮮以外）	1	2	3	4	5	6	7
③. 惣菜・弁当・加工食品類	1	2	3	4	5	6	7
④. 日用品類（家庭用消耗品）	1	2	3	4	5	6	7
⑤. 日用雑貨類（生活用品）	1	2	3	4	5	6	7
⑥. 日用衣料品類	1	2	3	4	5	6	7
⑦. おしゃれ着・小物・バック類	1	2	3	4	5	6	7

質問7. お宅様（世帯）では、1カ月で消費に使える金額はおおよそどのくらいですか？

（1つに○）

1. 5万円未満	2. 5～10万円未満	3. 10～15万円未満
4. 15万円～20万円未満	5. 20～30万円未満	6. 30万円以上

<地元の商店・商店街等についてお伺いします。>

質問8. 地元の商店や商店街で買い物等の利用状況（大型店や全国チェーン店等を除く）

は、どの程度でしょうか？

（1つに○）

1. 比較的良好に利用している	2. たまに利用することもある
3. あまり利用することはない	4. ほとんど利用しない

質問 9. 地元の商店や商店街の課題はどのような事だと思われますか (大型店や全国チェーン店等を除く) (いくつでも○)

- | | | |
|--------------------|-------------------|---------------|
| 1. 価格が高い | 2. 品揃えが少ない | 3. 買い物の利便性が悪い |
| 4. 商品の質がよくない | 5. 活気が無い | 6. 駐車場がない |
| 7. 交通の便が悪い | 8. サービス・接客が良くない | |
| 9. 買いたい商品がない | 10. 商店街の人たちと交流がない | |
| 11. 生活圏に商店街は入っていない | 12. お店が少ない | |
| 13. その他 () | | |

質問 10. 地元の商店、商店街にどのようなお店ができれば利用したいと思いますか? (ご自由にお書きください。)

--

< 外食についてお伺いします。 >

質問 11. 外食する機会が多い市・町は主にどこですか? (宴会や酒席を除く) (2つまで○)

- | | | |
|--------------|------------|--------|
| 1. 多賀城市・七ヶ浜町 | 2. 仙台市 | 3. 塩釜市 |
| 4. 利府・松島町 | 5. その他 () | |

質問 12. 外食時のご予算 (1回お一人様が利用する金額) は、おおよそいくら位が多いですか? (宴会や酒席を除く) (1つに○)

- | | | |
|------------------|----------------|-----------------|
| 1. 500 円程度 | 2. 500~750 円程度 | 3. 750~1000 円程度 |
| 4. 1000~1500 円程度 | 5. 1500 円以上 | |

質問 13. 外食する機会はどのくらいありますか? (宴会や酒席を除く) (1つに○)

- | | | |
|-----------|-------------|-------------|
| 1. 週に3回以上 | 2. 週に1~2回程度 | 3. 月に2~3回程度 |
| 4. 月に1回程度 | 5. それ以下 | |

質問 1 4. 外食で利用されるお店の形態はどのようなものが多いですか？（1つに○）

1. ファミリーレストラン（全国大手チェーン店等）
2. ファーストフード店（ハンバーガー、牛丼等）
3. 専門のチェーン店（ラーメン、寿司、焼肉、とんかつ等）
4. 単独の店舗（その店1店舗のレストラン、専門店等）
5. その他（ ）

< J R 仙石線多賀城駅周辺に関するについてお伺いします。 >

質問 1 5. J R 仙石線多賀城駅及び周辺を訪れる機会はどのような時ですか？

（いくつでも○）

1. 通勤・通学等で平日は毎日多賀城駅を利用している
2. 買い物やレジャー等で他の街へ行く時に多賀城駅をよく利用している
3. 買い物や飲食等で駅周辺へいくことが多い
4. 市役所や周辺の施設を利用することが多い
5. 車などで通る程度である
6. 駅や駅周辺に行くことはほとんどない
7. その他（ ）

質問 1 6. 現在 J R 仙石線多賀城駅周辺は、復興・再開発に向けて様々な取り組みが行われておりますが、今後賑わいづくりに何が必要と思いますか？

（3つまで○）

1. 生鮮三品（肉・魚・野菜）を中心とした小売店の充実
2. 日用品・雑貨・衣料品等（生鮮三品を除く）を中心とした小売店の充実
3. 飲食店（居酒屋等酒類販売店を含む）の充実
4. 地元産品やお土産を扱う小売店の充実
5. レジャー・イベント等の開催やそのための施設・設備の充実
6. 歴史・文化をアピールする活動の充実
7. 医療機関・福祉施設・保育施設等の充実
8. 文化センター周辺環境の整備
9. 防犯カメラの設置等、安全確保のための整備
10. 歩道の整備等歩行者が安心して周遊できるインフラの整備
11. 起業家育成、企業誘致促進のためのオフィス施設の整備
12. その他（ ）

ご協力頂きまして誠にありがとうございました。